

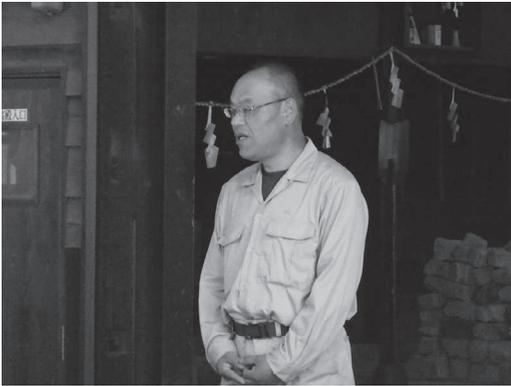
# 令和6年度美術刀剣製作技術保存研修会 作刀技術実地研修会実施報告

昨年引き続き本年も作刀実地研修会が無事に開催されました。この研修会は、若手刀匠を中心とした作刀技術の向上を図ることを目的として、昭和58年より開設され、今年で42回目となります。本研修会は1年目を「鍛錬」、2年目を「素延・火造」、3年目に「焼入れ」を行い、3カ年を以て修了するカリキュラムを組み、この3工程を全て終え



岩田工場長の挨拶

と、研修修了となります。本年の研修は「鍛錬」をテーマにし、「各種玉鋼の効果的使用法」として銚の下げも行いました。また参加者の中には作刀免許取得前の聴講生もあり、同時並行で銘切りの研修も一部行われました。研修初日には開講式が行われ、島上木炭銚工場岩田正人工場長、堀尾薫村堀尾村下の挨拶



下からご挨拶を頂戴し、本講習会への歓迎の言葉を頂きました。4日間の短期間ではありますが、松葉一路講師、高見一良講師の熱の入ったご指導と、受講生の真摯な姿勢により非常に内容の濃いものとなりました。最終日前日には、毎年恒例となる玉鋼の選別と販売が行われ、受講生はそれぞれ思いの玉鋼を選び、購入しておりました。最終日の閉講式では、堀尾村下からの挨拶と、松葉講師の講評、高見講師からの研修証書の手交が行われました。「本年は例年以上に受講生のやる気に溢れた研修であり、内容も濃密であった。来年度の現代刀職展への出品が楽



受講生

しみである。」との講師の言葉に受講生は気を引き締め、それぞれ帰路につきました。松葉講師、高見講師には、ご多忙にも関わらず大変熱心な御指導をいただきました。また講習会の実施にあたり数々のお骨折りを頂いた島上木炭銚工場の職員の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

**実施日** 9月25日(水)～28日(土)

**会場** 日刀保日本刀鍛錬道場

**講師** 松葉一路(景正)  
高見一良(國一)

**研修生** 岡山県 富岡慶一郎(慶正)  
広島県 ジョハン・ロイトヴィラー

## 聴講生

- 滋賀県 長野・ダニエル・仁
- 岐阜県 宮田剛志(正寿)
- 茨城県 市村貢
- 兵庫県 宇賀神一三
- 静岡県 内田善基(義基)
- 奈良県 古川富郎
- 鳥根県 古山直樹
- 宮崎県 森本成美

(たたら・伝統文化推進課主任 武田耕太郎)